

 評価のポイント

CL-Ⅱ. 看護実践能力：ケアする力

〔22-2〕 小児の救急蘇生の実際 小児の二次救命処置を中心に

小児の二次救命処置について本講義をもとにご自身の部署を振り返り、以下の3つの視点の中から「うまくいっていること」と「うまくいっていないこと」を考えてみましょう。

<視点> ①人（人員、知識・スキル） ②もの（物品・機材） ③場（環境・教育環境）

小児の二次救命処置では、その場で居合わせた者によるチームダイナミクスが求められます。そのため、自部署の小児二次救命処置について、うまく行っていることは、どのように継続し、うまくいかないところはどのように克服するかを視点を考えることができたかを以下の視点で評価します。

①人（人員、知識・スキル）

人員：急変時や救命処置において限りある人員を活用できているか

知識・スキル：救命処置に携わるすべての人の知識やスキルをもとに行動できているか

②もの（物品・機材） * 小児患者が搬送される施設背景に合わせて考えてください。

二次救命処置を行う上で物品、機材は整備され、定期的に管理されているか

用途、使用方法についてスタッフは理解しているか

③場（環境・教育環境）

蘇生を行う環境は、互いの能力と限界をもとに、建設的なコミュニケーションが図れる環境であるか

習得した技術やスキルは、学習や実践の振り返りとして学びの場となっているか

* 本課題は急変場面と二次救命処置についてその場に関わった医師、看護師など多職種のデブリーフィングやデスカンファレンスにおいても活用の機会となるでしょう。